

Stewart & Tricia Macpherson present their Olivier Award nominated London production of
The Original Stage Musical *Phantom of the Opera* by Ken Hill

ACT ONE

SCENE 2

主役のカルロッタの声が出なくなり代役にクリスティーヌを立てる。「何故私に相談せずは無名のコーラス・ガールを起用した？」と怒る支配人。マダム・ギリーが「それは幽霊の仕業」と警告するが、リシャールはそれを信じない。リシャールの偏見と、ラウルとの人目を忍ぶ恋に悩むクリスティーヌのもとへカルロッタが文句を言いに来てくる。幽霊がカルロッタめがけて梯子を倒して脅かす。そして今夜の演目「ファウスト」が始まる。

SONG No.2 : ACCURSED ALL BASE PURSUIT OF EARTHLY PLEASURE (C.グノー作曲「ファウスト」“呪われよ”より)

FAUST

Accursed all base pursuit of earthly pleasure!
Accursed be the shackles binding me so cruelly to lift
Accursed ye trinkets that entice me
Yet if I grasp them, fail to suffice me
Vain dreams of love, glory and strife
Breeding naught but dark despair
Accursed be silence, faith in god, faith in prayer!
A curse on team all!
Hear me, Satan!
On you I call!
Appear!

ファウスト

忌まわしいこの世の快樂の根源の追及！
残酷さを増す私を束縛する過酷な足かせ
私をそそのかす憎むべき汝らのつまらなさ
それらを支配しなければ、私は満たされない
愛のはかない夢、栄光と争い
無駄な努力のあとの暗い絶望
憎むべき静寂、神の信仰、祈りの信仰
チームごと呪われよ！
聞け、悪魔よ！
私はあなたに呼びかける
現れよ！

MEPHISTOPHELES

I am he - urrr

メフィストフェレス

私は彼だーウルルル

メフィストフェレスの首にロープが絡まり、彼は死んでしまう。舞台は中断。「事故か？」と思っただが、謎めいたメモが発見される。

SCENE 3

クリスティーヌの楽屋から話し声が聞こえる。「おまえは私のものだ、私だけのために歌ってくれ」という男の声。訝しんだラウルはクリスティーヌにドアを開けるように要求する。

SCENE 4

ドアを開けると誰もいない。たった一人で男と一緒に同じ部屋にいたろうクリスティーヌに、ラウルの怒りは収まらない。

SONG No.3 : HOW DARE SHE!

(G.ヴェルディ作曲「シモン=ボッカネグラ」“ええい、畜生！アメリカがここにいると！”より)

RAOUL

How dare she!
Alone with a man!
Who is this creature?
This gross wretch
Who impertinently claims to love her?

ラウル

彼女は何て大胆なんだ！
一人っきりで男と一緒に！
そいつはだれだ？
この下品な悪党は
図々しく彼女を愛していると主張したのか？

My beloved, she is stolen!
And my rage a burning fury!
Tremble, villain!
And so, Christine, we are finished!
Our love is over!
Ended!
I've been provoked unbearably
Nothing can quench this fire in me
I hope he has a thousand lives
I'll commit as many murders
Is this how she repays me?
Alas, how she betrays me!
She's all that's foul in womankind!
No!
No!
Ah!
No!
I must calm myself and
Cast her out of my life
Forget her
Forget her
Forget her
How dare she?
How dare she?
How dare she?

僕の最愛の人、彼女は盗まれた！
猛烈に怒ったぞ！
怒りで震える、畜生！
そういうわけで、クリスティーヌ、僕たちは終わりだ！
僕たちの愛はおしまいだ！
終わった！
僕は我慢できないほど腹を立てている
この興奮を鎮められるものはない
僕は彼がたくさんの命を持っていることを願うよ
僕は何度も殺すだろう
これが彼女の報い方か？
残念だ、どうして僕を裏切ったんだ！
彼女はそんなにひどい女だったのか！
いやだ！
いやだ！
ああ！
いやだ！
気持ちを鎮めなければ
僕の人生から彼女を追い払わなくては
彼女を忘れろ
彼女を忘れろ
彼女を忘れろ
よくも？
よくも？
よくも？

SCENE 5

「不幸な事故があった晩、自分のボックス席が使われていたことを遺憾に思う。二度とそういうことをしないように。そして再開する舞台ではクリスティーヌ・ダーエに歌わせるように」という幽霊からの手紙が届く。そこへ馬丁がやって来て、支配人に「馬が幽霊に盗まれた」と報告する。

SONG No.4 : LATE LAST NIGHT I'M IN THE CELLARS

(A. ボイト作曲「メフィストフェレ」“わたしは悪魔の精”より)

GROOM

Late last night I'm in the cellars...
Black as pitch...the gas is out...
Old Mauclair, the lighting feller's
fast asleep again, no doubt.
All at once there's this commotion
Caesar's restless and disturbed
Somethin's making I'm perturbed
And in spite of no light
I can see a weird sight
Clinging on to Caesar's back
Dressed from 'ead to toe in black
Wiv a long flowing cape
And a mask up to its fore' ead
Galloping I'm down the corridor
Is something really 'orrid...
Just a shape
Though I'm out of gas
I realize it 'as

馬丁

昨晚遅く 俺が地下貯蔵室にいると...
タールのように真っ暗...ガス灯が切れて...
モークレールは、点火する奴は
またぐっすり寝入っちゃったんだ、たぶん。
突然この大騒ぎさ
シーザーの不安と混乱
何か俺の心を掻き乱した
灯りが無いにもかかわらず
俺には奇妙な光景が見えた
シーザーの背中にピターっとくっついて
頭の中から足の先まで覆った
黒いマントをなびかせて
顔には仮面をかぶっていて
俺が廊下に出ると馬を全速力で駆けさせた
実際に何がって 廊下に...
まさに姿が
ガス灯は切れていたけれど
俺にはわかった

To be...

'Im

Am I getting through?

I'm one of very few

To see...

'Im

Then I'm away, legging it like' ell

Mister R, You should have 'eard me yell

'Mauclair!

'Are you there?'

'Where've you gone?'

'Anyone!'

'Everyone!'

'Elp!'

いるって...

俺は

俺は経験したのか？

俺は希少な一人だ

見える...

俺は

そのとき俺は遠くへ、さっさとずらかったんだ

ミスターR、俺が叫んだのを聞いたはずだ

‘モークレール！’

‘どこにいるんだ？’

‘どこにいつちまったんだ？’

‘誰か！’

‘みんな！’

‘助けてくれ！’

仕事をクビになり、恋も失ったクリスティーヌはオペラ座から出てゆく。そこで幽霊が手紙をすり替える。「すぐにミス・ダーエを呼び返して歌わせる、私に2万フラン払うのを忘れないように」

SCENE 6

もしやクリスティーヌは誰かに妬まれてハメられたのではないかという噂が流れ、一行はクリスティーヌを探す。彼女の居所を教えるバレリーナ。「教えてはいけなかった、幽霊の機嫌を損なう」とマダム・ギリーが言うが後の祭り。

SCENE 7

霧が立ち込めフクロウが鳴く墓地。小さな墓石の前で歌うクリスティーヌ。

SONG No.5 : ALL OF MY DREAMS FADED SUDDENLY

(A.ドヴォルザーク作曲「ルサルカ」“Mesicku na nebi hlubokem”より)

CHRISTINE

All of my dreams faded suddenly

I felt our love was so sure being

So sweet and heavenly

How could it fail to endure?

But then in one short moment

I find that I am alone

My life is over now

Soon I must go

Far from the memory

That haunts me so

How has it come to pass

this strange affair?

Whose is the shadow

That I feel is there?

Often I feel there is something in the night

Beating its dark wings above me

Mad with desire and full of spite

Hating whoever dares love me

My life is over now

クリスティーヌ

私の夢は突然消えてしまったわ

私たちの愛は確かなものだと思っていたのに

とても美しく素晴らしいものだ

どうして続かなかったの？

でもこのわずかな間に

私は独りぼっちだとわかった

私の人生は今終わったわ

すぐに私は去らなければならない

思い出から遠く離れて

私をそのように悩ませる

どうしてこんな

不思議なことが起こったの？

あの影は誰？

私がそこで感じたものは？

幾度も夜に何かを感じたわ

私の上の方で羽ばたいている黒い翼

欲望と悪意に満ちた狂気

私を愛する誰をも憎んでいる

私の人生は今終わったわ

Love passes by
Soon I must leave
I must say goodbye
Now that it's come to pass
What can I do?
There is no place for me
Here without you
All I have left is a broken vow
Truly my life is over now
My life is over now
Its over now
My life is over now

愛は過ぎゆく
私は去らなければならない
私は別れを告げなくてはならない
こんなことが起こった今
私に何ができるというの？
私の居場所はない
あなたがいないここには
私に残ったのは破られた誓い
本当に私の人生は今終わった
私の人生は今終わった
それは今終わった
私の人生は今終わった

幼い頃に聞いた父の言葉を思い出すクリスティーヌ。「私が死んだら音楽の天使を遣わしてやろう」彼女を探してやってきたラウルに「あなたがいたら天使は来てくれないから、帰ったふりをしてちょうだい」と頼む。

SONG No.6 : WHILE FLOATING HIGH ABOVE
(G.ピゼー作曲「真珠採り」「耳に残る君の歌声」より)

THE PHANTOM

While floating high above
I hear you speak my name
Your voice so sweetly calling me
To come to you again
I stole into your dreams
I touched your soul to mine
I gave music, and soon...
You must rest here with me
Eternally

幽霊

はるか上方に浮かんでいる間
私はあなたが私の名を口にするのを耳にする
あなたの声はとても甘美に私を呼んでいる
またあなたのもとへ行こう
私はあなたの夢の中に忍び込んだ
私は取り込むためにあなたの魂に触れた
私は音楽を与えよう、そしてすぐに...
あなたは私と共にそこで眠らなければならない
永遠に

CHRISTINE

The tiny speak you kindled
So set my heart aflame
That all the songs you hear me sing
are echoes of your name

クリスティーヌ

あなたの小さな囁きは
私の心に火を点ける
あなたが聴く私の歌はすべて
あなたの名のこだま

BOTH

Our voices blend forever
Ascending high above
One day I'll fly as high with you
And in heaven's arms we'll be
Eternally

ふたり

私たちの声はいつも溶け合って
空高く舞い上げる
ある日 私はあなたと共に高く飛ぶだろう
そして天国で暮らすだろう
永久に

THE PHANTOM

We'll share paradise

幽霊

私たちは楽園を共有する

BOTH

We'll share paradise

ふたり

私たちは楽園を共有する

誤解は解けたが、考え込むラウルを幽霊が襲う。「何かが起こる。一刻も早くオペラ座に帰らなくては！」